



キッズ11月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報



月	火	水	木	金
1 「Hello えいご」 開放日	2 開放日	3 休館日	4 開放日	5 開放日
8 「Hello えいご」 開放日	9 開放日	10あそびの広場 『うさぎの馬拉カス』 ※敬老の日プレゼント 前日までに予約してね	11 開放日	12 開放日
15 開放日	16 開放日、保育 園ホール開 放	17 子育て講座 『ベビーマッサージ』 (予約要)	18 開放日	19 開放日
22 開放日	23 休館日	24あそびの広場 『かくれんぼツリー』 ※前日までに予約して ね	25 開放日	26開放日、午後 はおもちゃ洗 いのため休館
29 開放日	30 開放日	毎週水曜日の午後はサークル活動利用日です。 お母さんたちの集まりにご利用ください (予約が必要です)。		

★子育て支援センター「ゆうゆう島」ホームページはこちらからどうぞ！
厚真町ホームページ <http://www.townatsumalg.jp/>
→トップページ→教育・文化→子育て支援センター

- ＊利用時間 午前10:00～11:30 午後1:00～4:00
- ＊『あそびの広場』 第2・4水曜日の午前中
1歳～就学前までのお子さんご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。
- ＊『Hello えいご！』 開催日の午前中
「Hello えいご！」英語指導助手のメラニーさんが来てくれます。遊びながら英語にふれることができます。年齢に関係なく興味のある方は、遊びに来てください。
- ＊開放日には、お気軽に遊びに来てください。
- ＊電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、その他お問い合わせなどは
☎27-2438 (直通) 子育て支援センターへ!!

マチの善意

子育て講座「ベビーマッサージ」

日時 11月17日(日)10:15～11:15
場所 子育て支援センター「ゆうゆう島」
対象 3カ月～8カ月までの乳児
持ち物 バスタオル、タオル(オイル拭き取り用)
申込締切 11月12日(金)
申込先 子育て支援センター
☎27-2438 (直通)

ホツとひといき

久々に実家に帰った。孫を抱えながら母が尋ねてきた「今は何の業務か」と「広報だ」と答えた。そうすると共感するように大きく頷きながら、幼少の頃に手がけた学級新聞を引き合いに、大変だったと語り始めた。「母よ。こちらはもう少しは大変だぞと言いたい。昔から母は、子ども達に自由気ままにやらせ、あまり干渉してこない自由放任主義だった。経済活動ではないが、同思想を唱えるイギリスの経済学者アダム・スミスもきつと驚くだろう。驚きついでに言うが、母は約束の時間を守らない。ただ遅刻するのではなく、仮に9時に約束すれば8時に来たりと極端に早いのだ。「なぜだ？」と問えば「9時も8時もたいして変わらない」と返ってきてしまう。1時間ズラして伝えるかなどあれこれ考える。時間の概念をも逸脱するこのセリフ、無茶苦茶すぎて思わず笑ってしまうが、このくだらないかけ合いで母の元気な姿を再確認する。(田)

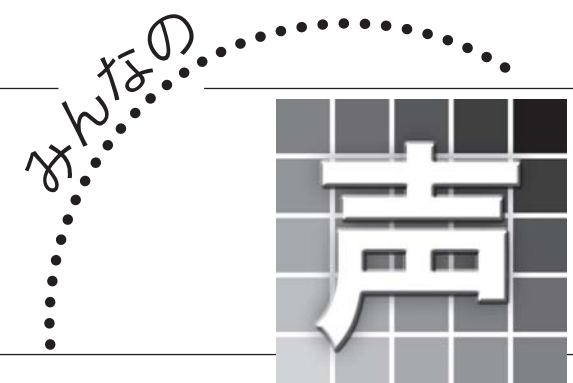
「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に、今回は『図書カード』をプレゼントします。

問題
年2回行われているパークゴルフ大会。今回も、11自治会から16チーム66人と大勢の方が参加され、熱戦を繰り広げました。
さて、優勝チームはどこでしょうか？
【ヒント】 今月号の広報を見てね。
▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。
▶しめ切り(当日消印有効) 10月29日(金)
▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120 厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)
【9月号の答え】 200曲
【9月号の正解者】 9月号の応募者は12人で、全員正解でした。抽選の結果当選された方には、後日賞品を発送します。

Quiz・クイズ

みなさんの声をお寄せください

・こんな記事を読んでこう思った。
・こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。
紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。
まちづくり推進課 電話27-3179 FAX 27-2328



みんなの広場

町制50周年記念町民植樹祭
植栽地の愛称(ネーミング)
大賞作品

君達の森

(きみたちのもり)
～「次世代の君達に贈る森」
という願いを込めて～
考案者 館山 睿さん(浜厚真)
優秀作品:「あつま未来の森」 井上次男さん(本郷)
「あつま未来の森」 奥平恒望さん(新町)

決定



各賞を受賞した3人



大賞を受賞した館山さん

寄せられた声
先日、役場前を通るとゴミを拾っている女性職員の方を拝見いたしました。

名前を存じあげませんが、大きな声と笑顔であいさつされ、とても気持ち良く感じの良い方でした。(匿名)

サークル訪問

詩吟・吟舞同好会



代表/藤江利津子さん
会員/17人
活動日/毎週月・火・土曜日
活動場所/福祉センター・厚南会館
対象/一般
連絡先/☎28-2226 (代表自宅)

詩吟の音色にあわせ力強く演舞するその姿は、華麗かつ多彩、見ている人の心をとりにしてしまう…。
「踊りはもちろん、礼儀作法も楽しく覚えることができますね。子どもからお母さん、おばあちゃん3世代で習いにきているご家族もいるんですよ」と代表の藤江さん。
「会の子どもたちには驚かされますね！少しでも上達したいという気持ちから、稽古に取り組む姿勢が素晴らしいんですよ。だから上達が早いのです」と胸を張る。
福祉センターで年1回行われる審査発表会は、会員の方々にとって、日々の稽古の成果を披露する場所となる。
「ここ厚真で、日本の伝統芸道である『吟舞』を広めていきたい。上手、下手は全く関係ありません。まずは踊ることを楽しんでもらえれば」と笑顔で話す藤江さんだ。
掲載を希望するサークルなどはまちづくり推進課企画調整グループへ
(☎27-3179)